



諸富祥彦先生  
<http://morotomi.net/>

# Dr.諸富の 元気になる 悩み相談

誰かに相談したいけど、なかなか切り出せない…。

ここではそんな先生方の悩みに、諸富先生がズバッとお答えします。

取材・文／清水由佳 イラスト／藤井昌子

1  
悩み

現任校では「指導力＝強い態度で生徒の指導にあたれる能力」と言われるのですが、そういう態度が苦手です……。

## 学校との相性の問題。 異動願いを出してみる

生徒に対してもどのような態度で指導していくのをよしとするか

は、学校によって非常に違います。生徒が大人しくて、叱られても素直に従う学校もあれば、教師が厳しく管理してガンガン押さえ込んでいかないとダメな

学校もあります。学校によってカラーがあり、教師に求められる「指導力」も異なってきます。

そのため、例えば生徒の自主性を重んじてずっとやつてきた先生が、強い指導をする傾向の学校に異動になつたりすると、非常に悩んでしまうことがあります。しかも、「そんな指導ができるのは、私の力不足だから…」と、自尊感情が傷つき、自信を奪つてしまいかねません。

しかし、ここで弱気にならないでほしいのです。ご自分の指導力不足ではなく、これは単に学校との相性が悪かつたということか

もしないのですから。そして、相性の問題であれば、ご自身の指導方法や考え方と合うカラーの学校への異動願いを出してみましょう。

## 同じ考え方の先生と 秘密結社を結成！

ただ、なかなか思うように異動もできませんし、かといって学校の方針を大きく変えるのは至難のワザ。そこでぜひオススメなのが、同じような悩みを抱えている先生を探し、水面下で活動すること。強いカラーの学校ならば、同じように悩んでいる先生がきっといます。そういう先生と「秘密結社」を作つて、個別に生徒をサポートしてみるのもいいですよ。

教師が「カラーに合わない」と悩んでいるのであれば、生徒にも必ず悩んでいる子がいます。そういう生徒を救うのが、あなたのミッション！ そんな使命を担つたのだと、秘密結社で活動すると、結構楽しくなるものですよ。